

事業実績報告書

1 事業の名称	浦添感動体験りっか！浦添2020
2 団体名	一般社団法人 りっか浦添
3 団体の代表者	代表理事 前田幸輔
4 事業実施期間	2020年8月14日から2021年 1 月 29 日
5 事業目的	当団体は、浦添の歴史、文化、芸能、食などの資源を適切に管理しながら商品化を図り、発信し、地域の誇りとして育て、次世代へと継承することを目指しています。 私たちは琉球國発祥地である浦添の歴史的な正統性を活動の軸と据え、現代の暮らしに合わせて設えなおすことで新たな価値を生み出します。それを面的に展開することにより、浦添の観光吸引力が高まるだけでなく、首里城再建までの期間を補う観光コンテンツとしての機能を期待します。 上記のような活動が、将来的には浦添市民の誇りを涵養していくことを願っています。それはやがて、誇るべき歴史資源を次世代へ引き継ぐための素地となっていくことでしょう。私たちの活動を通じ、市民は浦添のことをもっと好きに、域外者は「浦添っていいな」と思ってもらえるようなまちを目指します。
6 事業内容	事業の参加人数、実施場所、内容、実施体制、事業経過などの実績をできるだけ具体的に記載してください。 ●参加人数 2,916人 ●実施場所 浦添市内全域 ●内容 史跡めぐりや観光名所を訪ねるだけではない、浦添の魅力を束ねた30日間の体験イベントにおいて、地域資源を生かした「交流」「伝統・文化」「識る」「食」「健康」の5つのカテゴリーに分類される45体験プログラムを提供 ●実施体制 事業企画、運営：一般社団法人りっか浦添 プログラム提供：浦添市内の70事業者

	後援：浦添市、浦添市観光協会、浦添商工会議所、屋富祖通り会 ●事業経過等 別紙参照 ①「りっか！浦添2020・実施とこれから」 ②「アクセス解析レポート」
7 事業の成果又は効果	体験に関しては前回に比して50%強もの参加者増という成果を得られたものの、オリオンキャンペーンについては同7割減の厳しい結果となりました。そのため、りっか！浦添2020を総体で考えると、参加者数は前回の約半数にとどまっています。前者に関しては、新型コロナウイルスの蔓延により県内イベント類が軒並み中止されているなか、安全な環境で楽しみたいという需要が生じ、そこに全戸配布したパンフレットがリーチしたことで上手く取り込めたものと考察しています。 その一方、後者に関しては、感染症蔓延以降、その対策手段として不要不急の外出を避けるよう呼びかけがなされ続けており、下降する飲食店の業績が当該イベントにおいても如実に反映されたものと思料します。
8 事業目的の達成に向けた課題と今後の対応策	●ポスターについて 前回のイベント終了後に参画事業者からいただいた意見を踏まえ、今回はポスターとパンフレットのデザインを抜本的に見直しました。その結果、パンフレットは非常に訴求力を高めた一方で、ポスターは閲覧者の注意を惹くものになりませんでした。次回に向けて、デザイン面の検討に加え、ポスター掲示場所についても見直しを図る必要があるものと考えています。 ●個別プログラムについて イベント運営主体である社団と参画事業者や参加店舗の間で熱量の差があるように感じられました。その結果、プログラムを提供することが、新規顧客開拓に向けたPRや将来に向けた先行投資など自社にとっての業績に直結するものと捉えられていないように見受けられます。 こうしたケースは一部ではあるものの、参画事業者の成長が浦添の魅力を高めていくことにつながることを鑑みれば、成長に資する機会として成果を挙げている参画事業者の創意工夫を共有する場を設けるなど、社団からの対策や働きかけが必要なものと

	感じています。
9 今後の取り組み に向けた展望	先述のとおり、今回のりっか！浦添は新型コロナウイルス蔓延の影響を受けて参加者数が半減してしまいました。しかしながら、そのような環境下にあっても約3,000人の参加者を集めたなかで一人の感染者も出さなかった結果は、換気・消毒・ソーシャルディスタンスの確保など適切な対策を講じれば一定の安全を確保できることの証左であり、個々の体験プログラムを提供した参画事業者の努力によってそうした環境をきちんと整備できるという事実を確認できたことも大きな収穫と考えています。 爾後、沖縄に限らず日本全体として、大型集客に依存し数を競ってきた観光産業の在り方が見直しに迫られることは必定です。感染症対策は言わずもがなではありますが、市民を中心としてこの地に暮らす沖縄県民が十分に満足し、楽しむことができた「りっか！浦添」は、世界的な災害によって俄かに耳目を集めはじめているマイクロツーリズムの先鞭をつけるコンテンツとなるでしょう。 観光産業が極めて重要な役割を果たしている沖縄県において、現在の社会環境は本当に厳しい状況にあります。新型コロナウイルスとの付き合い方を経てこれまでとは異なった価値観の形成が予測されるなか、新たな観光の在り方を先んじて示していくことによって、浦添の、ひいては沖縄県全体の未来が拓かれるものと考えています。社会情勢を鑑みればより一層の留意と配慮が必要になりますが、今回の成果と反省を踏まえながら、可能な範囲で「りっか！浦添2021」を開催したいと考えています。 末筆になりますが、徹底した管理によって参加者の安全を確保した参画事業者による不断の努力に心からの敬意を表するとともに、開催にご尽力賜りました浦添市ならびに関係者に心からの感謝を申し上げます。

* 写真や図面などがありましたら、添付してください。

- ①パンフレット（浦添を楽しむ地域体験イベント）
- ②ポスター

●事業スケジュール

実施日	実施内容	当初計画	変更理由
20.7.29	事前説明会開催	20.8月中旬	広報期間の拡大を目指して全体スケジュールを前倒し
20.7.30	参画事業者公募開始	20.8月下旬	広報期間の拡大を目指して全体スケジュールを前倒し
20.8.11	参画事業者公募〆切	20.9月上旬	広報期間の拡大を目指して全体スケジュールを前倒し
20.8.12～9.5	プロگرام内容精査	20.9月上旬	広報期間の拡大を目指して全体スケジュールを前倒し
20.9.6～24	原稿作成、写真撮影		新型コロナウイルス蔓延に伴い撮影遅延
20.9.25	パンフレット入稿	20.9月中旬	原稿素材が揃わなかったため入稿遅延
20.9.26	SNS広報開始	20.9月下旬	当初計画どおり
20.9.29	ポスター入稿		原稿素材が揃わなかったため入稿遅延
20.10.15	HP公開、参加者募集開始		当初計画どおり
20.10.22	会期前確認	20.10月下旬	当初計画どおり
20.10.29	パンフレット全戸配布	20.9月下旬	入稿遅延に伴い全戸配布時期を繰り下げ
20.11.1～30	りっか！浦添2020開催	20.11.1～30	当初計画どおり
20.12.16	りっか！浦添2020総括	20.12月中旬	当初計画どおり
21.1.19	フィードバック会	21.1月中旬	緊急事態宣言の再発令に伴い対面環境を諦め、メール等にて資料配信

収 支 精 算 書

事業の名称	うらそえ感動体験りっか！浦添 2020
団 体 名	一般社団法人 りっか浦添

収入

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減額 (決算－予算)	説明
自己資金	144,176	196,741	52,565	当法人予算より拋出
事業者参加費	300,000	0	－300,000	社会情勢（コロナ）に伴い免除
協賛広告収入	320,000	0	－320,000	社会情勢（コロナ）に伴い営業活動中止
助成金	500,000	500,000	0	本件助成金
合 計	1,264,176	696,741	－567,435	

支出

単位：円

科目	予算額	決算額		比較増減額 (決算－予算)	説明
			うち助成対象		
旅 費	238,020	92,900	0	－145,120	スケジュール変更
報償費	25,300	0	0	－25,300	モデル採用中止
	29,700	0	0	－29,700	モデル採用中止
印刷製本費	332,794	125,059	100,000	－207,735	デザイン変更
	114,780	0	0	－114,780	無し
広告費	22,000	0	0	－22,000	無し
通信費	2,400	0	0	－2,400	郵送➡メール
使用貸借料	22,000	0	0	－22,000	モデル採用中止
	2,400	4,000	0	1,600	美術館使用（NO・06）
委託料	474,782	474,782	400,000	0	ホームページ構築費
合 計	1,264,176	696,741	500,000	－567,435	